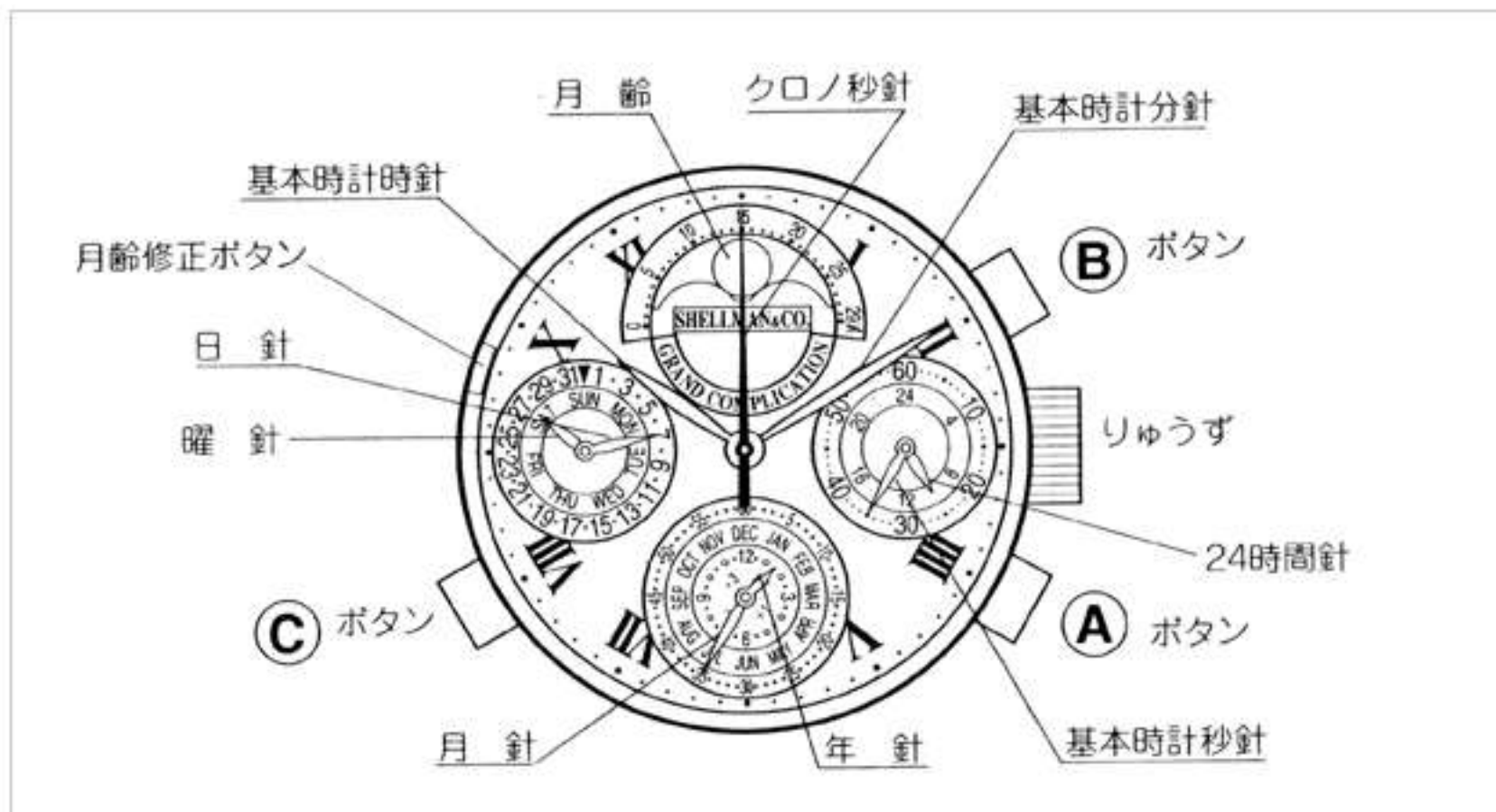


グランドコンプリケーション 操作ガイド

- ▶時計の見方 ▶時刻／曜日の合わせ方 ▶引き打ち時計の時刻の合わせ方 ▶カレンダーの合わせ方 ▶クロノグラフのつかい方 ▶基準位置の確認と合わせ方

基準位置の確認と合わせ方はクロノ秒針、月針、年針、日針の各表示にずれがある場合、通常の調整がうまくいかない場合のみ行ってください。

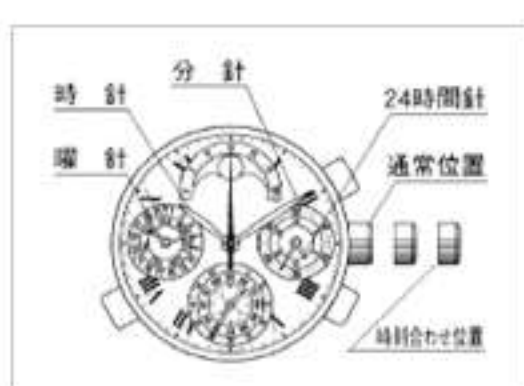
時計の見方



この時計は、チャイムによるミニッツリピーター(報時機能)をはじめ、フルオートカレンダー、スプリットセコンドクロノグラフ機能等を搭載しています。

[このページのトップへ▲](#)

時刻／曜日の合わせ方

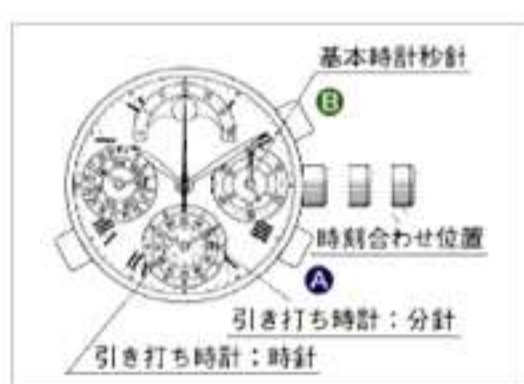


- 1、秒針(3時位置の長針)が0秒位置で停止するように、りゅうずを2段引きします。
- 2、りゅうずを右回転し(時分針が時計まわりに進む方向)、曜日(9時位置の短針)を合わせます。※PM9:00~AM1:00頃の間で往復させると早く修正ができます。
- 3、りゅうずを左右いづれかに回転させて、時分針を現在時刻に合わせます。※24時間針は時分針に連動して修正されますので、これを目安に午前、午後にご注意して時刻を合わせてください。
- 4、りゅうずを通常位置に押し込みます。

＜注意＞基本時計の時刻合わせを行った後は、必ず、引き打ち時計の時刻を基本時計の時刻に合わせ直してください。これが合っていないと正しい時刻を報時しません。

[このページのトップへ▲](#)

引き打ち時計の時刻の合わせ方



- 1、基本時計の秒針が0秒で停止するようにりゅうずを2段引きします。
- 2、AまたはBボタンを押して年針、月針を基本時計の時刻に合わせます。※Aボタンを1回押すと1分進みます。Bボタンを押すと1分戻ります。A、Bボタンとも押しつづけると早送りします。
- 3、時報(TEL.117)等にに合わせて、りゅうずを通常位置に押し込めば完了です。引き打ち時計の時刻を他の国(地域)の時刻に合わせてと、ローカルタイム(及びその報時)としてもご使用できます。

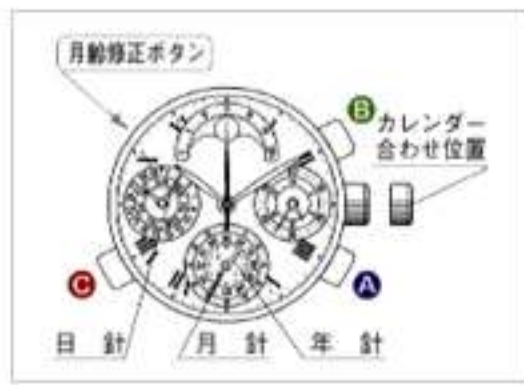
ー引き打ち時計のつかい方ー

りゅうず通常位置でBボタンを押すと、現在時刻をチャイムをお知らせします。時・・・時の数(1回～12回)ぶんだけ、「高い音」を1秒間隔で鳴らします。分・・・15分ぶんを意味する「高い音+低い音」の連続音を1秒間隔で鳴らし、続いて残りの「分」の端数ぶんを「低い音」で鳴らします。
 (例)5時34分の場合のチャイムの鳴り方
 「高い音」を5回(=5時)
 「高い音+低い音」を2回(=2×15分=30分)
 「低い音」を4回(=4分)

[このページのトップへ▲](#)

カレンダーの合わせ方

ー年、月、日の合わせ方ー



- 1、りゅうずを1段引きにします。
- 2、AまたはBボタンを押して月、年(閏年からの経過年)を合わせます(左図参照)。※Aボタンを1回押す毎に1ヶ月ぶん進みます。※Bボタンを1回押す毎に1ヶ月ぶん戻ります。
- 3、Cボタンを押して日を合わせます。※Cボタンを1回押す毎に1日ぶん進みます。
- 4、りゅうずを通常位置に押し込めば完了です。各ボタンとも押し続けると早送りできます。



ーうるう年経過年早見表ー

年	経過年	表示
2008	うるう年	L.Y.(+4) < L.Y.はLeap Yearの略 >
2009	1年目(うるう年から)	+1
2010	2年目	+2
2011	3年目	+3
2012	うるう年	L.Y.(+4)
2013	1年目	+1
2014	2年目	+2
2015	3年目	+3

ー月齢の合わせ方ー



月齢修正ボタンをピンなどで押して月齢を合わせます(軽く1押しで1日分、強く押しすと2日分進みます)。月齢の見方(月齢はりゅうずの位置に関係なく修正できます)。

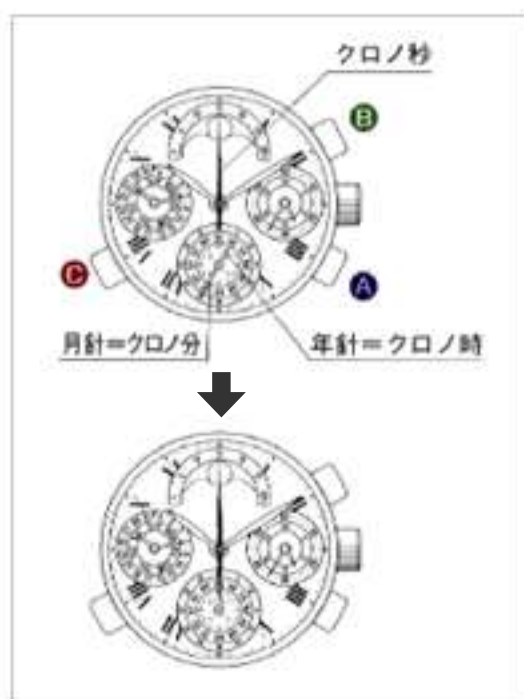
※新聞等から当日の月齢を読み取り、この表を参考に月マークを合わせて下さい。

[このページのトップへ▲](#)

クロノグラフのつかい方

クロノグラフ計測は1/4秒単位で最大12時間の計測ができます。またスプリットタイム(途中経過時間)も計測できます。計測を行う場合はクロノグラフ表示への切り替えを行った後、各手順に従って行ってください。

ークロノグラフへの切り替えー



Cボタンを2秒以上押します。

クロノグラフ表示に切り替わり、年針、月針が00:00位置(12時位置)に移動します。

<通常のクロノグラフの使用法>

- 1、Bボタンを押して計測開始、クロノ秒針が動き始めます。
- 2、再度Bボタンを押すとクロノ秒針が止まり、経過時間が表示されます。
- 3、Aボタンを押すとリセットされ、クロノ秒針が0位置に戻ります。

<スプリットセコンドクロノグラフとしての使用法>

- 1、Bボタンを押すと計測を開始し、クロノ秒針が動き始めます。
- 2、Aボタンを押すとクロノ秒針が止まり、途中経過時間が表示されます。
- 3、再度Aボタンを押すと、途中経過時間が加算され計測開始時からの計測時間に戻ります。
- 4、2、3、を繰り返すことで、何度でも途中経過時間を計測できます。
- 5、Bボタンを押すと途中経過時間計測が終了します。
- 6、Aボタンを押すとリセットされ、クロノ秒針が0位置に戻ります。

[このページのトップへ▲](#)

基準位置の確認と合わせ方

<基準位置の確認と合わせ方>

時計が正しく作動しない場合には基準位置の確認を行い、合っていない場合はオールリセットを行ったあと、各針の基準位置合わせを行ってください。電池交換後もオールリセット、基準位置合わせが必要です。

※オールリセット後、基準位置合わせを行わないまま、りゅうずを押し込むと、日針が逆回転し、基準位置合わせが未完了であることをお知らせします(基準位置未完了警告表示)。



1、りゅうず通常位置でCボタンを2秒以上押します。クロノグラフ表示に切り替わるので、次の針位置を確認してください。

クロノ秒針・・・00.00秒位置
 年針、月針・・・0時00分位置

2、Aボタンを2秒以上押します。日針が次の位置を示すことを確認してください。

日針・・・31と1の間の▼マーク位置

基準位置にない場合は、オールリセット、及び基準位置合わせが必要です。基準位置になっている場合は、Cボタンを2秒以上押すと通常の時刻表示に戻ります。

ーオールリセット／基準位置合わせー



<オールリセット>

- 1、りゅうずを2段引きにします。
- 2、A、B、Cボタンを同時に押ししてから放します。クロノ針、日針、年・月針の順に運針した後、確認音が鳴りオールリセットが完了したことを知らせます。

<基準位置合わせ>

- 1、Aボタンを押して年針、月針を0時00分位置に合わせます(リュースは2段引き状態です)。
- 2、Bボタンを押してクロノ秒針を00.00秒位置に合わせます。
- 3、Cボタンを押して日針を、31と1の間の▼マーク位置に合わせます。このページのトップへ▲
- 4、りゅうずを通常位置に押し込めば完了です。

※A、B、Cボタンとも、押しつづけると早送りします。

基準位置合わせ後は、基本時計時刻、カレンダー、引き打ち時計時刻を正しく合わせ直してからご使用ください。